

TANADA NETWORK AUTUMN SEMINAR

令和元年度

信州棚田ネットワーク オータムセミナー

in
南信州

2019

11.20 (水) 13:00~

南信州・飯田産業センター

飯田市座光寺3349番地1

S-BIRD A棟2F ホール

セミナー内容

基調講演

「棚田地域振興法について」

講師 農林水産省 農村振興局 農村政策部 地域振興課 課長補佐 黒田 裕一 氏

事例発表

「よこね田んぼを核とした地域活性化」

講師 NPO法人里山ベーズ 事務局長 上原 祐二 氏

「棚田米から日本酒を造る」

講師 喜久水酒造株式会社 取締役商品本部長 後藤 高一 氏

パネルディスカッション

「棚田の新たな活用に向けての課題と可能性」

対象:県、市町村、信州棚田ネットワーク会員、棚田等保全団体、企業、個人

主催:長野県農政部(信州棚田ネットワーク)

お申し込み・お問い合わせ

長野県農政部 農地整備課 農地・水保全係 信州棚田ネットワーク 担当:小出

電話:026-235-7239(直通) FAX:026-233-4069

魅力ある地域の宝
「棚田」を活かそう！

“棚田”は、農村の原風景が今なお残る地域の宝です。しかし、その保全活動には多くの労力を要し、後継者不足など今後の維持に不安を抱えている地域が多くなっています。

県では、棚田保全団体等の情報の共有化を図り、信州の棚田の魅力を効果的に発信し、県内外の棚田ファンを増やすとともに、多様な主体の連携・協力を促進して、棚田の保全と棚田地域の活性化に繋げるため、「信州棚田ネットワーク」を設立しました。

今回、8月に施行された「棚田地域振興法」の情報提供や、南信州「よこね田んぼ」における修学旅行の受入れや民間企業と連携した日本酒製造による地域活性化への取組事例を参考に、県下棚田地域全体が活性化されるよう、セミナーを開催します。

日程

13:00 開会

13:10 基調講演〈40分〉

「棚田地域振興法について」

講師：農林水産省 農村振興局 農村政策部
地域振興課 課長補佐

黒田 裕一 氏

国民の財産であり地域の宝である“棚田”。しかし、棚田地域における人口減少や高齢化の進展等から“棚田”は荒廃の危機に直面しています。こうした中、今年8月、棚田地域の持続的発展等に寄与することを目的に「棚田地域振興法」が施行されました。棚田保全に関わる支援情報や取組のポイントの他、農林水産省で実施している、新たな棚田ファンを獲得するための取組の事例等についてお話をいただきます。

13:50 事例発表〈30分〉

「よこね田んぼを核とした地域活性化」

講師：NPO法人里山ベース事務局長

上原 祐二 氏

「よこね田んぼ」の保全活動において、中心的な役割を果たすべき設立された「NPO法人里山ベース」の上原事務局長様から、NPO法人を核とした棚田を活用した地域活性化への取組方針について、特色ある事例とともに、お話を伺います。

14:20 事例発表〈30分〉

「棚田米から日本酒を造る」

講師：喜久水酒造株式会社 取締役商品本部長

後藤 高一 氏

喜久水酒造(株)では、2018年より「よこね田んぼ」で生産されたお米を原料として新酒醸造に取り組んでいます。2019年においては、酒販免許を取得した「NPO法人里山ベース」が「Y-704」と名付け販売を開始しています。当地域唯一の酒造会社における、棚田に着目したきっかけやCSR・CSVとしての今後の可能性、課題などについてお話を伺います。

〈休憩 14:50~15:00〉

15:00 歓迎コンサート

山村歌手 清水 智 氏

15:10 パネルディスカッション〈100分〉

「棚田の新たな活用に向けての課題と可能性」

棚田保全団体(地元)、企業、学校関係者など、それぞれの立場で棚田に求める価値を共有するとともに、棚田保全や活用に向けての課題と可能性を見出し、棚田の新たな活用に活かすために、各分野のパネリストにより議論を深めます。

16:50 閉会



信州棚田
ネットワーク

会員募集中

信州棚田

検索

